

研究主題「実践的・体験的な活動を通して生活を工夫する能力や態度を育てるための家庭分野の指導の在り方について

- ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れて - 」

東京都教職員研修センター 企画部企画課

新宿区立落合中学校 教諭 寺島 京子

研究のねらい

中学校技術・家庭科の「家庭分野」における家族と家庭生活(1)「わたしたちの成長と家族」においてロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れ、生活を工夫する能力や態度を育てる指導の在り方を明らかにする。

近年わが国では、核家族化、少子高齢化が急速に進んでいる。このような社会の急激な変化に伴い、多くの人を抱えている家庭生活に対する不安は大きく、保護者からも中学校技術・家庭科「家庭分野」の学習に期待が寄せられている。このような背景から「わたしたちの成長と家族」の授業を行うにあたっては、身近な生活の課題を認識させ、解決に向けて努力する姿勢を身に付けさせることが必要である。また、生活に関連した具体的な課題から実践的・体験的な活動を取り入れた学習を展開させることが必要であると考えられる。

一方、生徒の現状を考えると毎日の生活の中で、家族や家庭生活の意義を実感できない、人とのかかわりが少ない、自己肯定感がもてないなどが挙げられる。

そのために必要なこととして、生徒が自立した主体的な生活を営むためには、多くの人が自分の成長を支えてくれたことに気付き、自分も生活を支える一員としての自覚をもち、生活をよりよくしようとする態度を育てることが大切である。

そこで実践的・体験的な活動を取り入れた指導計画を立て、相手の立場や気持ちを理解させ、人とのかかわりを考えさせるためにロールプレイングを行った。また、生徒自身が学習全体を見通して課題を把握し、学習の気付きを共有化させ、学習をさらに深めるために1枚のポートフォリオ評価を取り入れた。このような実践をし、生徒自身が学習の課題を自分の生活の課題としてとらえ、実生活の中で生かそうとする意欲が育ち、具体的な実践につながると考え、研究主題を設定した。

研究の内容と方法

仮説 家庭分野の「家族と家庭生活」の指導において、ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を取り入れた学習を行うことにより、自らの成長を振り返り家族と家庭生活について考え、生活を工夫する能力や態度を育てることができるであろう。	
1 基礎研究 ・学習指導要領の分析をする。 ・家族と家庭生活の指導に関する先行研究を調べる。	2 実践・授業研究 ・生徒の興味・関心を喚起するロールプレイングを取り入れた3年間の指導計画を作成する。 ・指導方法の工夫としてロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れ、有効性を検証する。 ・B1「わたしたちの成長と家族」のための生徒用の1枚のポートフォリオ評価用紙を作成する。 ・生活を工夫する能力や態度を育てるためにロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を取り入れた授業の検証を行い、生徒の変容を見取る。 時期：平成19年1月 対象：新宿区立落合中学校 第2学年 77名
検証の視点 実践的・体験的な活動として、ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れた指導方法の工夫により、自分の成長を振り返り、人とのかかわりや家族の役割などに気付くことができたか。 学んだことを生活に生かそうとする能力や態度の育成につながったか。	

研究の結果と考察

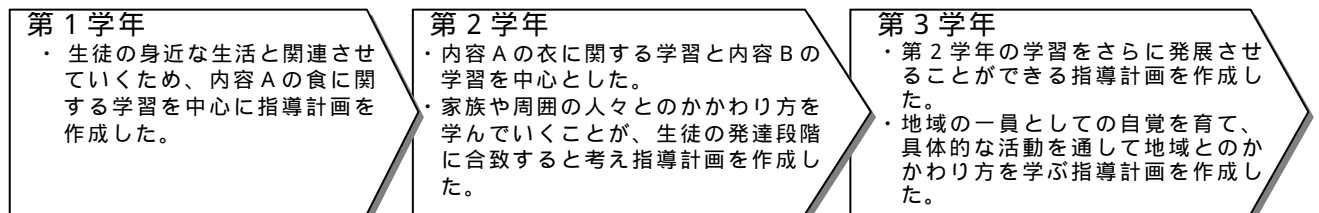
1 基礎研究

- (1) 学習指導要領の分析
- ・学習指導要領及び解説の内容から、内容B「家族と家庭生活」について本研究とのかかわりを中心に分析した。
- (2) 先行研究の分析
- ・平成11年度以降の家庭分野「家族と家庭生活」における学習についての研究では、生徒の「家族と家庭生活」に対する興味・関心が高いことが分かった。
 - ・「家族と家庭生活」の学習を行う中で、高齢者を理解するための学習を年間指導計画の中に位置づけている学校もあることが分かった。
- (3) 基礎研究のまとめ
- ・生徒の興味・関心が高い「家族と家庭生活」の学習を進めるにあたっては、興味・関心を持続させる指導方法の工夫が必要であるととらえた。
 - ・ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れることにより、実践的・体験的な活動をし、実生活に近づけた指導ができると考えた。

2 実践研究

(1) ロールプレイングを取り入れた3年間の指導計画

全学年でロールプレイングを取り入れた3年間の指導計画を作成した。【補助資料】
ロールプレイングを通して具体的な生活の場面を考えることで、生活を支えていく一員としての自覚をもたせたいと考えた。作成にあたっては、以下のことに配慮した。



(2) 指導方法の留意点

【ロールプレイング】

生徒にとって身近な課題を取り上げ、実生活に結び付けて考えられるようにした。班内を2～3人のグループに分け各自が責任をもって役になることを確認した。

課題の解決ということを認識させ、自分たちと他のグループの解決の違いなどを学ばせ、共有化させた。

演じるときに、絶対にやってはいけないことなどを約束事として全員で確認した。

【1枚のポートフォリオ評価】

紙面の項目への記入を繰り返すことにより、学習内容を確認させ自己の変容に気付かせた。

プライバシーに配慮し、回収・配布時も中身が他の生徒に見えないことで安心感を与え、思ったことを書けるよう形式を工夫し3つ折りとした。

3時間で1枚のポートフォリオ評価を完結させるために、記入しやすい紙面の構成を考えた。

授業への期待につながるような表紙の作成をした。

【図1 1枚のポートフォリオ評価用紙の一部を掲載 補助資料】

1時間目
教員の話から心に残ったことを記入する。

1時間目
付せん紙の作業から気付いたことを班で話し合う。

1時間目
学んだことを整理させる。

2時間目
授業の始めの段階で思っていることを書く。

2時間目
役割を決める。

2時間目
台本を書く。

2時間目
ロールプレイングをクラス内で書いて、役の気持ちを書く。

2時間目
班内でロールプレイングを評価する。

2時間目
授業の始めと同じ問い掛けから記載量の変化をつかむ。

【注 ~ は、記入する順序を示している。】

(3) 検証授業の実施【学習指導案は研究成果物に掲載】

実施時期 平成19年1月
対象 第2学年 77名
題材名 「わたしたちの成長と家族について考えよう」
題材の目標 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考える。

主な学習内容・活動	指導上の留意点
(1時間目) ・幼児ということばから考えられることを1枚のポートフォリオ評価に記入する。 ・「たったひとつのたからもの」の話を聞き、心に残ったことをメモする。 ・自分の成長、幼児、家族、家庭生活からキーワードだと思うことを付せん紙に記入した。記入した付せん紙を持ち寄り同じ要素をもつものを班活動でまとめていく。 ・付せん紙の作業から気付いたことなどを班で話し合い発表する。	・思い付いたことを書くようにさせる。(書けない場合は、自分が幼かったころのことを思い出させる。) ・自分の成長や家族、家庭生活などを考えながら話を聞かせる。 ・分類作業では、相手の考えに気付くことや、気付きを共有化させる。(班での話し合い、発表など) ・付せん紙に書いたキーワードでまとめられないものがあったとしても、学習に関連しているものがあることに気付かせる。(机間指導の際に気付かせていくことばかけをする。)
(2時間目) ・班内を2分し、課題の解決に向けてロールプレイングの台本を作り、班内で発表をする。 ・幼児への思いや家族の役割について気付いたことを1枚のポートフォリオ評価にまとめ、発表する。	・ロールプレイングでは、よりよい課題解決の方向になることを確認させる。(何が課題であるのか、どのような解決方法があるのか、十分に意見交換をさせていく。) ・役の気持ちになってそれぞれの立場を考えさせる。(自分の成長を振り返り、どんな人とかかわりがあったのかを思い出させる。)
(3時間目) ・すべての班がロールプレイングの発表をする。 ・発表後、班ごとに幼児と家族のかかわりや役割について話し合い発表をする。 ・学習のまとめを1枚のポートフォリオ評価に記入する。	・演じるときの注意などを確認し発表をさせる。 ・発表を通して自分の学んだことを確認させる。 ・課題の解決にはいろいろな方法があることに気付かせる。 ・学習全体を通して、自分の中の変化に気付かせ、家庭での実践につなげさせる。(1枚のポートフォリオ評価の記述から考えさせる。)

(4) 生徒の変容

【1枚のポートフォリオ評価の自由記述より】

学習を始める前の「幼児」に対する印象の記述

小さい、よく泣く、ことばが分かりづらいなど見ただけの印象で記述をしている生徒が多かった。

学習を進めていく中で、幼児を守ってあげたい、かわいがりたい、ロールプレイングで親の気持ちが少し分かったなど、自分も生活を支えていく一員としての自覚が芽生えてきたことが、班での話し合い活動や1枚のポートフォリオ評価の記述から確認した。

「実践的・体験的な活動を通して生活を工夫する能力や態度を育てるための家庭分野の指導の在り方について
- ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れて - 」

【生徒数 77 名「学習を振り返って」の記述から分析した結果】(複数回答)

家族の温かさ、思いやり	68%
幼児のこと	46%
命の尊さ、感謝する気持ち	28%

生徒の感想

・「自分の成長には家族や親せきの人、近所のおばさんなど多くの人が助けしてくれたんだと思った。これからは自分たちが周りの人たちを助けていく番だと思う。今までは何も考えずに毎日を送っていたし、楽しかったらそれでいいと思っていた。だけどこれからは、家の中や町会でも何か自分ができることは積極的にやりたい。」

生徒の感想

・「家族というのは、私たちにとってなくてはならないかけがえのない存在だし、常に守られ支えられてきたことを実感した。現代では軽々しく「死」ということが冗談として出てきたりするけれど、この授業で命の重さを実感できるよい機会になったと思う。」

生徒の感想

・「ロールプレイングで自分もこんな時期があったのかなあと思い返した。幼い頃は親はうるさいと思っていただけど、親の立場になると心配できっとたまらないだろうなと思う。子どもの存在がいかに大切かわかった。命や家族の大切さもよくわかった。」

【「学習を振り返って」の項目から生徒が学んだことをまとめた結果】

家庭生活に生かそうとしている。	これからの家庭分野の学習や学校生活に生かそうとしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家の弟や妹との接し方を考えたい。 ・親へ感謝の気持ちをもった。 ・子どもも親も大切なので、どちらも大事にしたい。 ・家族の役割を再認識した。 ・幼児の気持ちを知ると兄弟の接し方も変わると思う。 ・誰もが将来、幼児にかかわると思うので、しっかりと考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児に興味をもった。 ・幼稚園実習に向けて、幼児に優しく接するようにしたい。 ・班での話し合いは、難しかったが他の人の意見を聞き、いろいろな考えを知った。 ・何があっても命は大事にしたい。 ・幼児と接して何を考えているのを知りたい。 ・小さい頃は友達のことを考えなかったけど、これからは友達も家族と同じように大切にしていきたい。 ・もっと人の気持ちを考えられるようになりたい。 ・家族や友達など、人と人とのコミュニケーションが大切だと思った。

以上のような「生徒の変容」より、生徒は学んだことを確実に生活に生かそうとしていることを、ロールプレイングや1枚のポートフォリオ評価の取組みの様子から、明らかにすることができた。

(5) 検証授業の分析と考察

視点 実践的・体験的な活動として、ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れた指導の工夫により、自分の成長を振り返り、人とのかかわりや家族の役割などに気付くことができたか。

ロールプレイングを体験する中で自分の幼いころを思い出し、人とのかかわりや家族の役割などの気付きや考えを深めたことが分かった。

1枚のポートフォリオ評価に記入したことを比較し、自分の考えの変化を実感した。さらに班での話し合いから自分の成長に気付き、家族・周囲の人の接し方が幼児をよりよい方向に育てていくことにつながると実感したことが分かった。

視点 学んだことを生活に生かそうとする能力や態度の育成につながったか。

演じることによって、それぞれの立場に立った気持ちで話をすることができた。自分が家族に何かしたいと思うようになった。これは、友達とかかわり合って演じたことから気付いたり、自分の成長を振り返ったりする中で、家族の一員としての自覚が芽生えた結果であり、今後もこのような学習の継続をしていく必要があると考える。

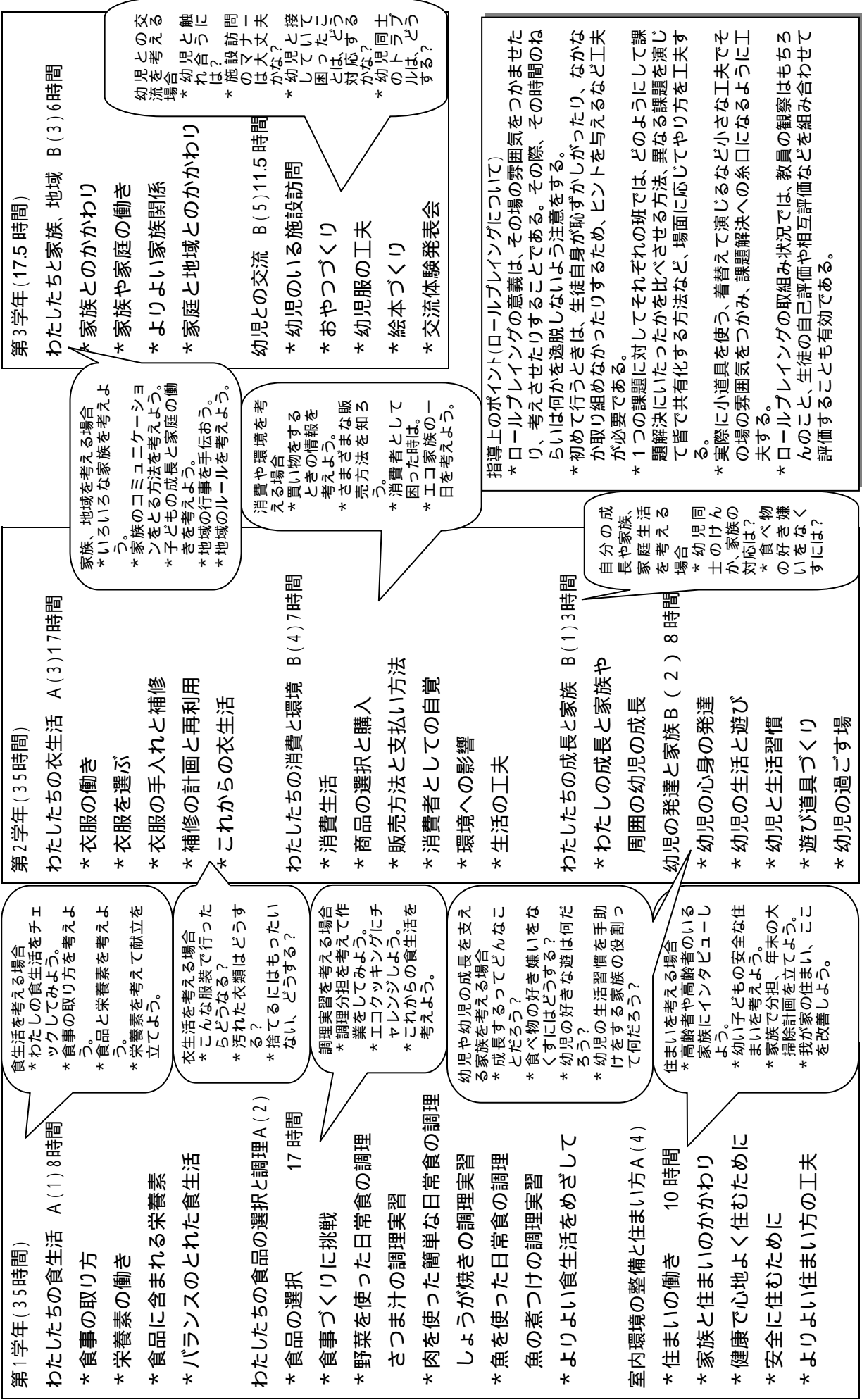
授業後も課題の解決について友達同士で自分の経験を交えた話をしたり、他の班の台本と見比べたりするなど意欲的に取り組んだことが分かった。

今後の課題

今後もロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を家庭分野の全授業の中で継続して行い、他の単元においても検証を進めていく。また、1枚のポートフォリオ評価に書かせるにあたっては、適切な分量を授業内容から考える。今回の学習が学習指導要領の内容 B 2、B 3 の導入になっていくよう一層研究を深めていく。

さらに、他教科との関連を図りながら、生活を工夫する能力や態度を育てるための指導の方法を工夫していきたい。

3年間の指導計画と実践的・体験的な活動例（ロールプレイングの取り入れ方）



「実践的・体験的な活動を通して生活スキルや態度を育てるための家庭分野の指導の在り方について」
 ・ロールプレイング、1枚のポータルカードを複製に取り入れて、

「実践的・体験的な活動を通して生活を工夫する能力や態度を育てるための家庭分野の指導の在り方について
 ・ロールプレイング、1枚のポートフォリオ評価を授業に取り入れて、」

指導計画 評価計画 (全 1 1 時間)

内容	時数	小題材名	学習目標	評価規準	評価計画				評価方法
					関	工	技	知	
B 1	1	・ 私たちの成長と家族	・ 自分の成長を振り返り、家族や家庭生活について考えを深める。	1自分の成長と家族や家庭生活とのかわりを考えようとしている。(関・意・態) 2自分の成長について理解したこと、気付いたことをまとめている。(技) 3自分の成長は家族や多くの人の支えられてきたことに気付いている。(知・理)	1	4	2	3	1時間目 ・ 活動状況、1枚のポートフォリオ評価の記入状況 2時間目 ・ 活動状況、ロールプレイングの話合いの様子、1枚のポートフォリオ評価の記入状況
	2	・ ロールプレイングをしよう	・ 課題のよりよい解決に向けてロールプレイングの仕方考えられる。	4自分の考えをもち、積極的に話し合いに取り組んでいる。(関・意・態) 5人とのかわりについて工夫したり考えたりしている。(工・創) 6幼児に対する家族の役割を考え、理解を深めることができる。(知・理)	2	5	8	6	2時間目 ・ 活動状況、ロールプレイングの話合いの様子、1枚のポートフォリオ評価の記入状況
	3	・ ロールプレイングから考える	・ ロールプレイングの発表を通して幼児や幼児を取りまく家族について考える。	7発表を通して自分の成長を振り返り、幼児や家族について考えようとしている。(関・意・態) 8ロールプレイングの内容を分かりやすく発表することができる。(技)	3	7	15	18	3時間目 ・ 活動状況、ロールプレイングの発表の様子、1枚のポートフォリオ評価の記入状況
	4	・ 幼児の成長を考える 1	・ 幼児の身体発達について理解する。	9幼児の身体発達の発達について、積極的に考えようとしている。(関・意・態) 10幼児の身体発達の発達について、自分の成長と比べながら考えようとしている。(知・理)	4	13	14	15	4時間目 ・ 活動状況、1枚のポートフォリオ評価の記入状況
	5	・ 幼児の成長を考える 2	・ 幼児の心の発達について理解する。	11幼児の心の発達について、積極的に考えようとしている。(関・意・態) 12幼児の心の発達の特徴について、自分の成長と比べながら考えようとしている。(知・理)	5	16	17	18	5時間目 ・ 活動状況、発表の様子、1枚のポートフォリオ評価の記入状況
	6	・ 幼児の成長を考える 3	・ 幼児のことはや生活習慣について理解する。	13幼児のことはや生活習慣の特徴について、関心をもち、自分の課題を見付けやすくまとめている。(工・創) 14工夫して分かりやすくまとめている。(工・創) 15自分の課題について調べる事ができる。(技)	6	19	20	21	6時間目 ・ 活動状況、発表の様子、1枚のポートフォリオ評価の記入状況
	7, 8	・ 幼児と遊ぶ	・ 幼児の年齢や発達に応じた接し方や遊び方について理解し適切な遊ぶことができる。	16自分の課題を見付け、幼児とふれあおうとしている。(関・意・態) 17幼児と楽しく遊ぶ工夫を考えることができている。(工・創) 18幼児の年齢や発達に応じたかわり方を理解している。(知・理)	7, 8	22	23	24	7, 8時間目 ・ 活動状況の観察、観察レポートの点検
	9, 10	・ 遊び道具の製作	・ 幼児の心身の発達に応じた遊び道具を製作する。	19遊び道具づくりに関心をもち、計画的に製作することができる。(関・意・態) 20遊び道具を幼児の心身の発達や安全を考え工夫している。(工・創) 21幼児の心身の発達に応じた遊び道具を製作することができる。(技)	9, 10	23	24	24	9, 10時間目 ・ 活動状況の観察、遊び道具の製作、遊び道具の製作レポート
	11	・ 幼児の過ごす場を考える	・ 幼児にとってもよい環境を考える。	22幼児にとってもよい環境について関心をもち、自分の課題を見付けすることができる。(関・意・態) 23幼児にとってもよい環境を工夫して分かりやすくまとめている。(工・創) 24幼児にとってもよい環境について調べたり、気付いたりしたこととまとめ、発表することができる。(技)	11	24	24	24	11時間目 ・ 活動状況の観察、発表の様子、1枚のポートフォリオ評価の記入状況、ペーパーテスト

4時間目以降は、B 2用の1枚のポートフォリオ評価用紙の作成をする。

11 ロールプレイングの発表をしよう

班	内容	解決の仕方	感想	想
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		
	を付けよう 1 2	を付けよう A B C		

1 幼児ということばからどんなことが思い付きますか？

12 わたしたちの成長と家族の学習を振り返ってみよう。(分かったこと、考えたことなど学習を終えた今の気持ちを書こう)

先生より

わたしたちの成長と家族

生まれた時は？

幼いころはどんな子どもだったかな？

好きな遊びは何だったかな？

今、近所に幼児は、いるかな？

家族の役割って何だったろう？

幼児期っていつだったろう？

いっしょに遊んだのは、だれかな？

ことばは、いつごろから話すのかな？

お世話になった人は誰だったろう？

わたしの成長したのが、いつだったかな？

2年 組 番 氏名

年 月 日作成

2 先生の話から心に残ったことを書こう

3 付せん紙を分ける班の活動から気付いたこと、
考えたことを書こう

4 今日のまとめ
自分の成長を振り返ったとき、どんなことに
気が付きましたか？

ロールプレイングをしてみよう
5 幼児にとって家族の役割って何だろう？

6 実際に役割を分担して演じてみよう

役割	登場人物を演じる人
1	
2	
3	

7 台本を考えてみよう

8 役名 () 演じてみてどんな気持ち
になったかな？役の気持ちになって
書いてみよう

9 班内の発表で気付いたことをまとめて
みよう

1 自分たちのロールプレイングはどうでしたか？ A とてもよかった B よかった C 不十分 2 その理由は何か？
3 他のグループのロールプレイングはどうでした か？ A とてもよかった B よかった C 不十分 4 その理由は何か？

10 幼児にとって家族の役割って何だろ
う？